

専門図書館協議会 2022 年度全国研究集会概要（7月20日～21日）

時間	内 容
7月20日(水) 第1分科会 【1-1】13:30 ～14:30	基調講演：「ファミリーヒストリーを支える図書館でのリサーチ取材」 講 師：NHK 第2制作センターチーフ・プロデューサー 佐々木麗氏 ・NHK ドキュメンタリー番組「ファミリーヒストリー」の取材で全国各地の図書館や博物館、史料館等を活用しながら調査を行った経験を踏まえ、ユーザー側の視点から見た専門図書館のサービスや資料の魅力についてお話いただく。また他機関が持つ資料やレファレンス対応の事例を知り、専門図書館が提供してきた資料や情報を捉え直す機会とします。
第2分科会 【1-2】14:40 ～15:40	テーマ：「本を読む場を創る図書館」 講 師：調整中 内 容：人々の人生をより豊かなものにするよう、「未来の読者」を生み出すことをテーマとして、その課題の抽出と仕掛けづくりをする図書館の活動を報告してもらう。
第3分科会 【1-3】15:50 ～17:20	テーマ：「周年事業の活用を通して組織アーカイブズの価値を探る」 1. 総論 講師：(公財) 渋沢栄一記念財団 情報資源センター 松崎裕子 氏、茂原暢 氏 2. 事例発表 1, 2, 3 (1) (株) 資生堂 アート&ヘリテージ室 小泉智佐子 氏 (2) 自由学園図書館・資料室 村上 民氏 (3) 東京国立博物館 150年史編纂室室長 恵美千鶴子 氏 各機関・団体等の記録・資料は、活動の証として経営の透明性や説明責任を確保するだけでなく、広報、教育等に活用されることで組織の存在意義、価値向上に寄与する大切な資源です。歴史的な組織資料の蓄積があり顕著な活動で注目される企業、学校、博物館からアーカイブズのデータベース化と情報発信や、周年事業など「記録・資料（アーカイブズ）の活用」の視点からお話をいただきます。
【1-4】17:45 ～18:45	オンラインサロン※参加費無料 参加者を中心とした交流の場を設定しました。 再度のご入場が必要になります。

時間	内 容
7月21日(木) 第4分科会 【2-1】13:30 ～14:30	テーマ：「専門図書館と著作権最新動向2022」 講 師：弁護士、元文化庁著作権課著作調査官 澤田 将史氏 ・専門図書館をめぐる著作権法改正を中心とした最新動向について解説いただきます。 ・とりわけ、昨年5月改正、6月公布された「著作権法の一部を改正する法律」から2年以内に施行予定の各図書館等による図書館資料の公衆送信に関する措置についての概要と最新動向についてお話いただきます。
第5分科会 【2-2】14:40 ～15:40	テーマ：「人をまきこみ図書館の利用を促進」 (1) 「BIZCOLI ライブラリの役割再考」(仮) 講師：九州経済調査会 BIZCOLI 館長 岡本洋幸氏 (2) 富士吉田市立図書館の取り組み (仮) 講師：富士吉田市役所 小佐野みはる氏 ・コロナ禍が続く中で、場としての図書館をどのように運営していったらよいか悩みは続いています。図書館は、館種に限らず、人がつながり情報がつながり発見アイデアが生まれる場として重要です。九州の「知の集積・交流・創造」拠点をコンセプトにした会員制ビジネスライブラリーBIZCOLI、公共図書館である富士吉田市立図書館の取り組みを通じて、その役割を再考しながら、そのための仕掛けづくりと図書館の利用促進を実現した取り組みについてお話いただきます。
第6分科会 【2-3】15:50 ～17:20	テーマ：「オープンサイエンスとダイヤモンドOA—学術情報の幅広い共有と利活用に向けて」 講 師：国立情報学研究所 船守美穂氏 ・学術情報をオープンに共有していこうというオープンサイエンス政策が展開されているなかで、ダイヤモンドOAは、論文著者および、論文の読者にとっての学術論文のオープンアクセス(OA)を追求します。学術情報が分野、そして学术界も超え、広く社会で利用されることにより、研究の新たな展開やイノベーションの創出が期待されています。この理念の要となる「学術情報の共有と連携・協働の促進」の現状と動向について、本分野の研究の第一人者である船守氏から

お話を伺います。